

# がん化学療法看護認定看護師とは？

がん化学療法看護認定看護師  
原田由美  
青砥由美子

# がん化学療法看護認定看護師とは？

- がん化学療法薬（抗がん剤）を安全に取り扱い、患者さんに適切に投与を行う役割があります。また、抗がん剤による副作用症状の緩和や、患者さんが自分で副作用に対してケアを行っていけるように支援を行います。

# 当院のがん化学療法看護認定看護師

がん化学療法看護認定看護師 原田由美

2012年にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。現在は病棟に所属しています。

がん化学療法を受けられる患者さんが安心して安全に治療を受けていただけることをモットーに、投与時の方法やシステムの見直しを行ったり、他の看護師に指導を行っています。

また、様々な副作用が出現するため、少しでも軽減できるようにお話をさせてもらっています。

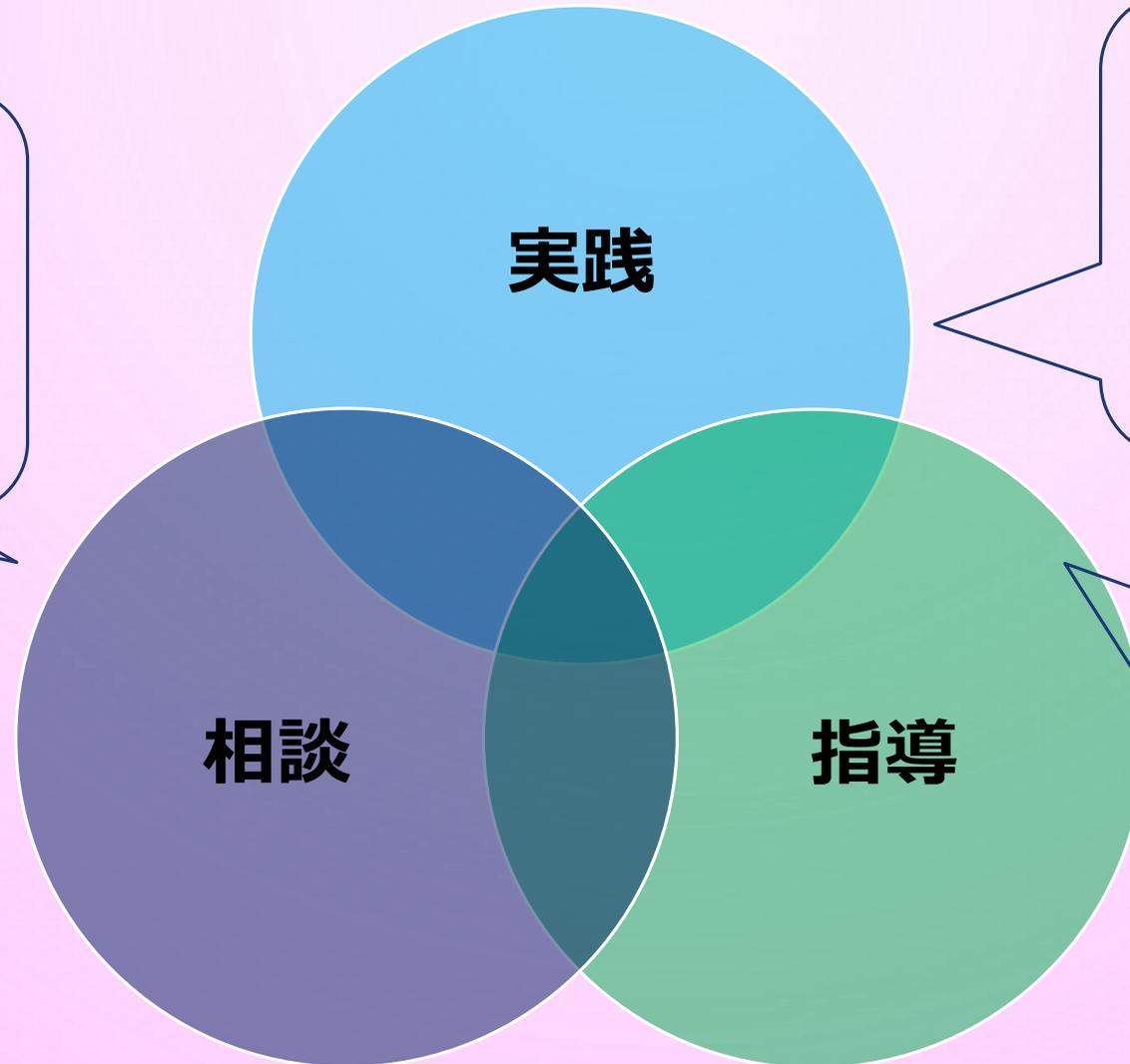
治療に対して様々な不安や疑問を少しでも減らすことが出来るように、お手伝いさせていただきたいと思っています。

がん化学療法看護認定看護師 青砥由美子

2010年にがん化学療法看護認定看護師資格を取得しました。

現在は外来で化学療法を行う患者さんを中心に副作用指導、点滴管理などを行っています。患者さんが相談しやすい雰囲気作り、安心して治療が受けられる環境を作るように努めています。抗がん剤治療は副作用や医療費など患者さんへの負担も大きいです。一人ひとりの問題解決に向けて一緒に考えていけるよう、お手伝いさせていただきたいと思っています。

# がん化学療法看護認定看護師の役割とは？



院内の看護師からがん化学療法についての相談を受けています。

患者さんが安心して治療が受けられるように細心の注意を払って抗がん剤の投与を行っています。

院内の看護師を対象にがん化学療法についての勉強会などを行っています。  
患者さんへ副作用などの指導を行っています。

# こんな場所で治療をおこなっています（外来）

- 現在、抗がん剤治療による副作用の軽減ができるようになり、通院で治療を行う患者さんが増えています。
- 当院でも平成18年から通院治療ができる専用の部屋が開設されています。



外来治療室

テレビの設置や室内にトイレもあり長時間の点滴治療でも快適に過ごせるようになっています。

# 外来治療室はこんなところですよ

- 外来治療室では8床のベッドで患者さんのがん化学療法治療をおこなっています。
- 年間約500～600件の治療を行い、現在は胃癌や大腸癌、肺がん、乳がんなど様々ながんの治療を行っています。
- がん化学療法治療看護認定看護師以外にも、がん化学療法治療の知識を持つ看護師が患者さんの治療を行っています。



様々なパンフレットを用意しています。自由に閲覧していただけます。



# 入院で行う治療もあります

外来で治療を行う患者さんが増えていますが、治療の種類によっては入院で行うものもあります

- 入院治療の特徴には次のようなものがあります。
  - ◆初めて化学療法を行う場合
  - ◆長時間（24時間以上）の治療が必要で通院では出来ない場合
  - ◆副作用管理のため入院が必要な場合                      などです

初めての治療、長時間の治療で不安も多いと思いますが、認定看護師をはじめ、知識を持ったスタッフが対応しますので安心して治療を受けてください。

# 治療中はこんな事に気をつけています

- 抗がん剤投与中は副作用が出現することもあります。患者さんが安全・安楽に治療を受けていただくように、治療中も血圧測定を行ったり、声掛けを行い異常の早期発見に努めています。

副作用はないか、点滴の速度は適切か定期的に観察を行います。そのため異常の早期発見ができ、安心して治療を受けていただけます。



# 患者さんへの説明を行っています

- 化学療法を受ける患者さんが、自宅で副作用の予防や自己管理ができるように情報提供を行っています。また、副作用出現時の対処方法の指導を行っています。



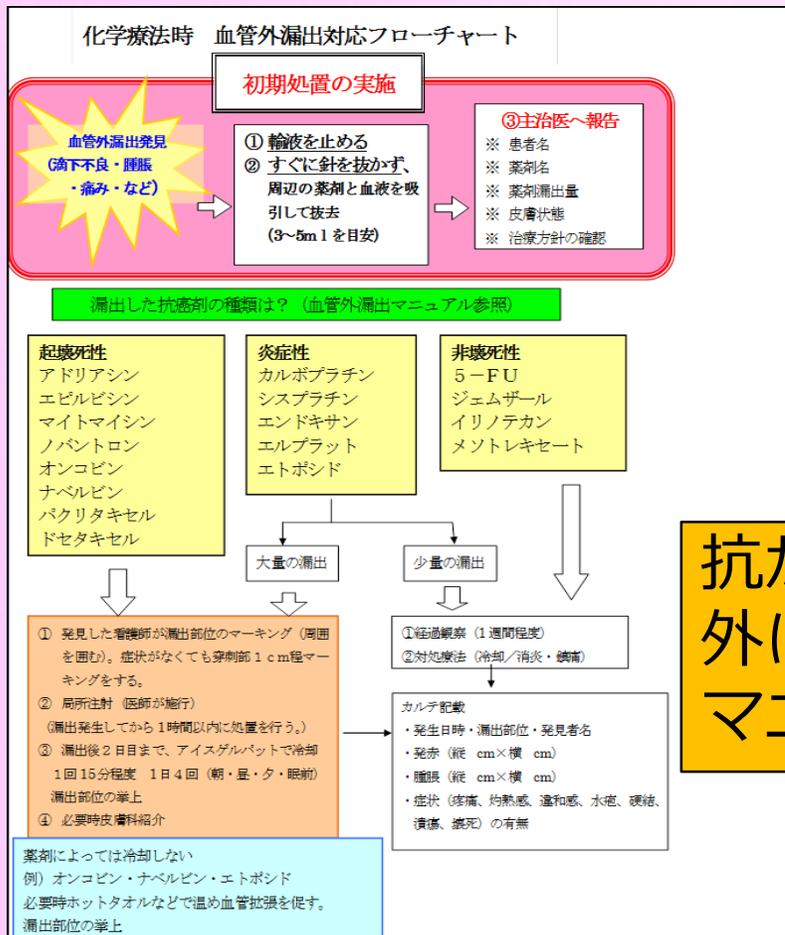
脱毛が起きやすい薬剤もありウィッグなどの展示、説明も行っていきます。

作成したパンフレットや既存のパンフレットを用いて薬や副作用の説明を行っています。



# こんな活動を行っています

- 院内の看護師に向けて研修を行い、がん化学療法の知識を伝えています。
- また、マニュアルの作成や改訂、患者さんへのパンフレットを作成しています。



## 抗がん剤が血管外に漏れた時のマニュアル

## 患者さんへのパンフレット

### 外来で化学療法を行う患者様へ

外来で治療をするにあたり、心配や不安がおりだと思います。外来治療への不安が少しでも軽減できるように、治療前に一度見学にお越しください。

外来治療室ってどこにあるの？

家族が付き添う事はできるの？

南棟1階にあり、神経内科やリハビリの近くに位置しています。比較的新しい場所です。室内にはベッド6床、リクライニングチェアが2床あります。

治療中は基本ご家族の付添は不要ですが、ご本人やご家族が希望されれば可能です。その場合、感染予防や他の患者様もいらっしゃるの少人数でお願いします。



治療をして帰宅後に体調が悪くなったときはどうしたらいいの？

通院治療をされる方には心配なことのひとつだと思います。体調がすぐれないときには各担当科、夜間は救急外来にお問い合わせください。TEL:0859-33-8181 (代)

治療中はどうしたらいいの？

治療中は看護師が頻回に症状の観察に伺います。安心してゆっくりお休みください。治療中に食事や水分補給が出来ます。必要な方は準備してお越しください。テレビも設置してありますのでイヤホンをご持参ください。ウイッグや治療のパンフレットも展示してありますのでご覧ください。



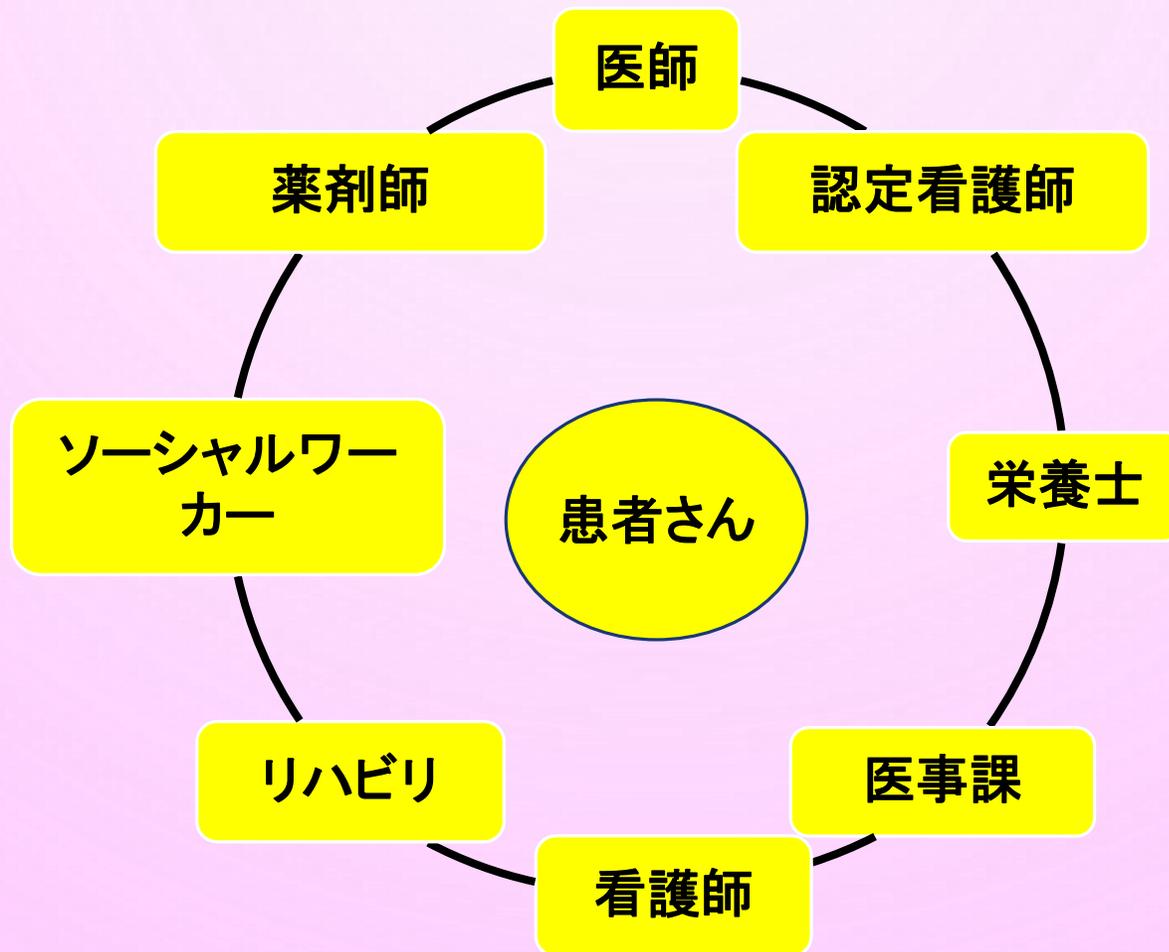
# 患者さんとのかかわりの紹介です

- Aさん。治療の副作用で脱毛が起きました。副作用が出現する前から、ケア帽子、ウィッグについて説明を行いました。ウィッグは、外来治療室にある見本を見てもらいました。ケア帽子や毛付き帽子は当院の売店で販売していますが、「一人では行く気にならない。何を買っていいかわからない。」という気持ちを持っておられたので、どのタイプが似合うかを一緒に売店に行って選び、購入し脱毛への準備ができました。
- Bさん。治療を開始してから、ご家族が家事を全てしてくれるようになりました。しかし、Bさんは、「嬉しい反面、自分にできることが無くなってしまった気がする。家族に迷惑をかけてしまっているから辛い。自分を心配してくれているから、言いにくいし・・・。」とおっしゃっていました。そこで、「その気持ちを正直にご家族に伝えてみてはどうでしょうか？治療の後は、身体がだるいから手伝ってほしいこと、でもその後は、楽になるから家事をしたいことを伝えてみませんか？」と提案させていただきました。その後、Bさんは、ご家族に気持ちを伝えることができ、治療後のだるい時期は家事を手伝ってもらい、楽になった時期は、ご自分で家事をして楽しく過ごしていると言われました。

- Cさん。がん化学療法治療を続けているが、予後を考え、もっとできる治療があるのではないかとセカンドオピニオンを検討しておられました。しかし、自分から言い出すことができず、一人で悩んでおられました。主治医に状況を相談し、治療後の時間を利用してセカンドオピニオンについてお話をする時間を設けるようにし、自分の想いを話されました。主治医とお話をしてセカンドオピニオンを受診することになりました。
- Dさん。1回目の治療で副作用が強く出現し、2回目の治療への不安が強くみられました。主治医と相談し副作用を予防する薬剤の追加や投与するがん化学療法薬の量などの検討を行いました。使用する薬剤の内容や投与する量については薬剤師とも連携し、安全に投与できるようにしました。

# 様々な職種が患者さんをサポートしています

治療中、副作用や食事、医療費などで困ったときは、適切な職種に介入を依頼し患者さんをサポートできるように連携をしています。



がん化学療法を行う時は、副作用、予後、家族・仕事のことなどいろいろな心配があると思います。私達、認定看護師は患者さんが安全に安心して治療を受けていただけるように、お力添えできればと思っています。困ったこと、疑問などありましたらお気軽にご相談ください。

